



藤枝MYFC

福祉支援プロジェクト2020



Story

Jリーグが開幕25周年を迎えた2018年に「Jリーグをつかおう！」を発信。以降、藤枝MYFCは地域に根差したホームタウン活動への質向上を目指して来ました。そのひとつとして、2020シーズンスタートした活動がこの福祉支援プロジェクトです。スタートのきっかけは、既に行政・NPOと協働にて実施されていた川崎フロンターレさんの取り組みを知ったからです。地域課題の解決に向け思いを共有できる仲間とともに、一年間の準備期間を経て実現。行政とパートナー企業様に支えられスタートした活動は、回を重ねるにつれて地元大学や学生ボランティアさんにも参加いただけるまでになりました。活動に参加いただいた事業所様からは、これまでお給料が上手に使えなかった利用者さんが、プライベートでチケットを購入し観戦に行っているようで嬉しい！ご家族の方もその姿に喜んでいる！といった声が上がっていると聞きました。行政、参加事業所様、パートナー企業様からも継続の要望をいただき、2021シーズンは活動の継続はもちろん、皆様のさらなる活躍の場を創出できるようチャレンジしてまいります。

活動詳細情報はこちら



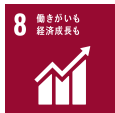
<https://myfc.co.jp/blogs/20200715/1109970/>

<https://myfc.co.jp/blogs/20201212/1112995/>

活動場所

藤枝総合運動公園サッカー場

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、学校、福祉事業所

協働者名

株式会社マルフク、有限会社ロード・ワン、ダイソー水産株式会社、
杉村精工株式会社、クボタ環境サービス株式会社、
明治安田生命保険相互会社静岡支社、焼津市健康福祉部、
焼津市内就労継続支援事業所、静岡福祉大学

